

令和4年度第5回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

- 1 開催日 令和4年11月25日(金) 午前10時00分～12時20分
- 2 開催場所 特別会議室
- 3 出席者 委員8名、事務局2名、傍聴人0名
- 4 議事 ①令和4年度パブリック・コメント審議会に係る手続に関する課題について
②令和4年宝塚市諮問第12号「令和3年度パブリック・コメント手続の実施及び運用状況の評価について(答申)(案)」について

○事務局 　　ただ今より、令和4年度第5回宝塚市パブリック・コメント審議会を開催する。本日の出席者は委員8名中全員出席で過半数に達し審議会は成立。傍聴者はなし。

○会長 　　議事に入る前に、事務局から資料その他について説明をお願いします。

○事務局 　　配布している資料について説明をする。資料1について、前回までの評価を一覧表にしたものであり、暫定的なものである。資料2について、委員から提案のあった評価に関する算出方法で説明をしたものである。資料3について、委員から提案があった算出方法によるものとこれまでの算出方法によるものをまとめたものである。上段はこれまでの算出方法によるものと算出数値を四捨五入したもの、下段は提案(改善試案)があった算出方法によるものとその数値を四捨五入したものである。改善試案の算出方法について説明を行う。なお、着色箇所については、評価が変わるところを示す。資料4について、答申書(案)である。

○会長 　　資料について事務局から説明があった。今回議論することは、一つは、総合評価表を確定すること(資料1)、委員から評価について違和感があるとの指摘があり、見直しをしてはどうかという提案があった。ふたつが、答申案を取りまとめることである。

　　まず、上段は、総合評価について各委員の評価点数の平均点を出し切り上げし、A～Eの評価を行うもの(①)とその数値の小数点以下の四捨五入を行うもの(①')である。下段は、最高値と最低値を除いて評価点数の平均点を出し切り上げし、A～Eの評価を行ったもの(②)とその数値の小数点以下を四捨五入したもの(②')である。それぞれを整数値化したものである。他の算出方法など意見はあるか。算出方法は、恣意的でない方法で評価しなければならないが、委員の違和感をなくすような方法はあるか。

○委員 　　庁内の他の審議会において評価方法について、どうしているのか。統

一されていたりするの。もし、そうしたものがあるのであれば、当審議会だけ変えることはできないのだが。どのようなものか。

○事務局

市として統一的に定めているマニュアル等はない。案件を採点するような審議会は見当たらない。強いてあげるのであれば、指定管理者選定委員会ぐらいであろう。

○委員

スコアリングと採点の違いではないか。

○会長

指定管理者選定委員会は、一番良い点数の企業を選ぶことである。ランク付けを行う当審議会の評価とは異なる。先の委員の発言は、市としてのやり方、他の評価方法を気にしないで審議できるのかという趣旨である。それでいいか。

○事務局

同意する。

○会長

では、どうか。

○委員

評価について、四捨五入しているところは一見良いが、一度平均値について切り上げを行ってから、整数値に四捨五入を行うことは問題である。それならば、最頻値や中央値をとる方法がよいだろう。分かりやすいが、評価がガラリと変わるので問題がある。

○事務局

最頻値を用いて評価するとした場合、委員の評価が二つの評価で同数となった時に処理する方法として学問的な決まりがあるのか。

○委員

その場合に近い分析方法は、中央値という分析方法がある。奇数の場合は真ん中の数値を、偶数の場合は真ん中の 2 つの数値の平均値を中央値とする。今回の場合は、専門的な言い方をすれば、離散型の数値となる。よって、連続の数値となっていないので、中央値や最頻値を執ることが望ましいのではないか。委員の印象はどうなるのか。

○会長

最頻値は多く出てきている数値を選ぶこと、中央値というのは真ん中の数値を選ぶことである。

○委員

平均をとると、必ず歪みが生じる。適切な数値を選ぶことができない。だから、中央値や最頻値を使うこととなるのではないか。委員提案の算出方法はとても合理性が高いものであるが、この方法はランク付けをする場合に使用することが最適な方法である。指定管理者選定をする場合は適する。

○委員

パブコメの評価の場合、各案件で内容やテーマや難易度がそれぞれ異なる。Cは「ふつう」として感覚として評価し、「D」は「もう少し努力を要する」として評価した。個々の評価が異なるのはやむを得ない。ただ、「切り上げ」、「切り捨て」ではなく、「四捨五入」の方が望ましい。この評価は、今後の在り方、こうしてくださいと言うメッセージだと考えている。パブコメをする時には、市民に分かりやすいものを

提供するよう工夫してください、というものではないか。よって、従来のやり方で、四捨五入方式に変えた方がよい(①)。

- 会長 他に意見はないか。
- 委員 最頻値と中央値が最も納得できるものである。
- 委員 現行の評価の考え方を確認する。A: 4.0超、B: 4.0~3.1、C: 3.0~2.1、D: 2.0~1.1、E: 1.0以下。
- 会長 評価が同数の場合、最頻値では決めることができないので、中央値を使うということになる。
- 委員 60%の得点率(評価3.0)で、「B」を採れるというのは違和感がある。全体評価を決めるところで考えなければならない。A~Eの配点はそのまま、平均点を切り捨てにするか、四捨五入とするのか。平均点をジャッジするときの基準を変えてみてはどうか。
- 委員 敢えて平均を出す必要があるのか。総合点を取ってはどうか。
- 委員 真ん中の傾向を知りたいということから平均を出しているのであろう。中央値を執る時に、評価過程で修正を行った場合、瞬時に評価計算を出すのは困難となる。
- 事務局 5×8名で、40点満点としての評価点において、分布幅○%から△%に位置する区切る場所で評価を決めるということか。
- 会長 例えば、40点の32点の評価点を付けた場合、8割で「A」とするなど割り振ればいいのではないかと、ということが先の委員の発言であった。
- 委員 委員全ての評価点を積み上げていくことが評価として適切なものなのかあるいは妥当であるのか。
- 委員 私は、前回の審議会で評価と結果に対し違和感を感じた。この違和感を直すために評価を修正できないか。案件の内容もバラバラで、本審議会委員の評価もバラバラである。個人評価、課題もバラバラである。
私が提案した評価は、スポーツ競技におけるロシア選手の排斥の場合に用いられたものである。評価において切り上げ方式で、評価が甘いものと評価が厳しいものを除いて、評価の主観を除ける方法が良い。
- 会長 これは整数値にするから違いが出て来なくなるのではないかと。せめて、小数点以下2桁まで算出することが望ましい。中央値を用いると、分布重視の評価となるのか。
- 委員 中央値や最頻値は、分布に重きをおいたものであり、平均値は分布に重きをおいていない(中心傾向)。委員の持ち点が大きくなると、委員提案の方がいいのではないかと。(差が明らかに出てこない状態である。)
- 委員 これまでの経験から、議論する審議会は多くあるが、点数を付ける審

議会は珍しい。点数を出すことが、担当課が次回のパブコメ時に前回よりも色んな工夫をしようとするなどそれぞれの受け止め方が異なる。点数にこだわらず、評価の内容にこだわればいいのではないか。事務局は、この評価の内容を担当課に公開するのか。

- 事務局 答申書（資料4）の添付資料として、資料1を付ける。したがって、「A～E」の評価とその内容は公開することとなる。
- 会長 点数をつけることが目的ではなく、「AからE」の評価をすることだ。この評価は恣意的ではなく、8名の評価が同じではないということから数値化したものである。歪みがないようにするべきである。
- 委員 評価したことは、これからどのように使われるのか。評価したことが、担当課としてどれだけ重たく受け止められるのか。次回のパブコメをする時のモチベーションとなるのか。モチベーションとなるのであれば、評価することが重要となる。そうでなければ、意味がないのではないか。
- 委員 そう考えると、この審議会の存在意義がないのではないか。本審議会では評価し、答申書にまとめて市長や部長等から次回のパブコメをする部署に対して、より良く市民の意見を聞くように指導などをしてもらえばいいのではないか。年末に市長に答申をした際にそのことを市長に伝えてはどうか。
- 委員 私は今回の計画案等に対して厳しく評価した。しかし、提案のあった評価だと最高・最低の評価は省かれてしまう。評価をしたことについて忸怩たる思いがある。根拠をもって評価した。だから、8名皆さんの評価を出す方が良いのではないか。数字による指針と考えればいい。
- 委員 この意見は、ダイバーシティでいい。違和感を解消するために新たな評価算出方法を提案した。
- 委員 前回審議したNo.9は、委員の多くが高い評価をした。この案件を模範例として、これからパブコメをする部署に対して使ってもらえるようなモデルとして取り扱ってもらいたい。審議会としても、この案件を参考にして使っていただきたい。提案の評価方法は賛成である。評価基準が明確でなく、市民の意見に対して市の回答がどうなっているか、で評価した。個人的に評価に対してばらつきが生じている。もっと意見を反映すべきではないのか、など自身においても案件ごとの評価にブレがあるので、最高点と最低点は除いた評価の方が好ましいと考える。
- 委員 12案件の評価をする場合、一日で評価することはできないし、分けて評価をしてもブレやばらつきが出る。
- 会長 ①A～Eの評価について一定基準はある。しかし、計画の対象が違う

し、分野も違う。目の付け所、重点も違うことから、偏りが出ることは仕方ない。②だから、8人という複数人で評価しているのであろう。③8人の評価を分布に着目するか、各人の評価を積み上げて評価するかという二つの評価がある。④なお、A～E評価は、担当部局、市内部組織にどのように受け止めてもらえるのか、につながっている。分布に着目すると、委員提案の評価方法と中央値に基づく評価方法がある。

○委員

まず、総合点、平均点、中央値で、皆さんの意見を聞く。平均点を採用するなら、切り捨て・切り上げにするか、単純平均にするかを決める。最後にA～Eの評価内容を見直すか否かとしてはどうか。決めるのに挙手としてはどうか。

○会長

ではお一人1回の挙手で表決をとってよろしいか。

○委員

各案件の総合点を計算する。80%以上がAということであれば、12番がAに変更となる。残りの評価は変わらない。

○会長

総合点というのは現行の評価方法でもある。

○委員

四捨五入による評価(①)が良いと思う。委員提案によるものは、深い思いで評価した委員が一生懸命考えて評価した努力を無にするような感じである。平均値を出して、四捨五入した方がいいのではないか。A～Eの評価については、委員は市民の代表として、市民としてパブコメ案件を見ると、このような評価であろうと捉えられるのが良いのではないか。

○委員

委員提案の評価方法は一見良さそうに見えたが、委員が休んだ場合に評価がぶれてしまわないか。中央値を採用した場合、No.5の場合の評価はどうなるのか。この審議会はこうしているからということで従来の評価でもいいのではないか。委員の皆さんの意見を聞いて、評価が一通り終わった段階で、評価が納得いかない案件は再度検討することとしてはどうか。評価をしても色々な事情を加味して評価をし直すスタイルでどうか。

○会長

A～Eを付けた後に全体的な評価を加味する方法ですね。これも一つの方法です。現行の点数積み上げ総合点方式、平均点方式、中央値方式のいずれかを決めるので、挙手をお願いします。

○会長

結果は、総合点方式2名、平均点方式(現行評価)4名、中央値方式2名となった。

○委員

一旦算出した平均値を再び四捨五入して整数にするという方法は、排除する方が好ましい。理論的背景に乏しい。そうすると、再び中央値・最頻値へと戻る議論となる。

○会長

平均点方式で、8名の平均を算出(①)5名、最小・最高点を排除し

て6名の平均を算出(②)3名である。8名の平均を算出する方式を採用する。次に、A～Eの評価の区切りを見直すことについて議論する。

○委員

Bを70%とみるか、80%とみるか。成績(優・良・可・不可)のように区割りするか。Aが80%と考えて、Eを50%とすると、担当課に強いメッセージを発することになる。Eを40%未満とする。境界の数値を含めるのか。

○会長

まず、これまでのとおり平均点を算出する。次に平均点を割り当てる基準点を見直す。A(4.0以上)、B(3.5以上)、C(3.0以上)、D(2.0以上)、E(2.0未満)として評価する。そうすると、案件順にB、B、D、C、B、C、B、C、A、C、C、Aとなる。では、これまでのとおり平均点を算出する。基準点を見直す。その上で全体的な評価を委員で評価し直すというのはいかがでしょうか。

○委員

No.12の評価がBになり、歪みが生じている。

○委員

それぞれの値を「超える」に修正してはどうか。

○委員

基準を修正すると、どこかで歪みが出る結果となる。No.2はB→Cと変わり、No.12はA→Bとなる。

○委員

最終で評価を修正してはどうか。No.3を「C」とする。

○会長

起点を「含む」、「含まない」のか。含めた上で、全体的な評価を委員で評価し直す。最後に、点数だけにこだわらない評価を行うという部分を残す。

○会長

事務局は、これまでの議論に基づく運用方法を整理してください。この形で今年度から運用する。資料1は、答申の添付資料になるのか。

○事務局

そうです。

○会長

今までの議論を踏まえて事務局で修正を行ってください。また、「評価・課題のまとめ」については、記載の修正等があれば今月中までに事務局に申し出てください。なければそのままとする。

次に、資料4(答申案)について、私作成のペーパーを使用し、要点を整理しながら、答申書案について説明をする。一度持ち帰ってもらい、目を通して検討ください。答申案をまとめるにあたり、こういうまとめ方でいいのか、委員に意見を聞きたい。今月末までに意見をいただきたい。

まず2頁の概要版について形式的な問題(形式、見やすさ、作成の趣旨等)でのまとめ方でいいか。

○委員

市民が分かりやすいもの、理解しやすいものを作る必要があるのですが、その視点に立って概要版を作成すれば良い。形式の問題は必要か。

○委員

ある程度フォーマットとして定まっている方が良いのではないかと。

- 各部署で必要条件を満たしながら工夫していってもらえれば。
- 会長 読んでわかるもの、これがポイントだ、とわかるものがない。
- 委員 各担当課がどこまでできるのか。専門的なものについては市民が理解できない。パブコメ担当課として市民相談課は、何かできないのか。パブコメの橋渡し役として、組織内部の相談役の役割を担って欲しい。
- 会長 市民相談課としてはどうか。
- 事務局 アドバイザー的な役割は担っていく。パブコメの運用について相談窓口として今までどおり前向きに取り組んで行く。
- 会長 担当課が行うパブコメに対して、市民相談課が口出しをするというのはどうか。
- 委員 担当課に見易さや書き方などに対して、こうした方がいいなどのアドバイスをしていただければ。
- 会長 市民相談課が担当課に対して指示することは、組織のあり方としていかなものか。
- 委員 審議会での議論内容を担当課に伝えていく役割として。
- 会長 今後の検討課題としてはどうか。
- 会長 5頁(ウ)のカラー印刷についての記載の説明について、どうか。
- 事務局 事務局としては、マニュアルの中で庁内印刷は白黒印刷を前提としており、表紙は市民の目につくように色紙の使用を明記している。可能な範囲で市民の目を引くような工夫を担当課にはお願いをしている。カラー印刷が前提と受け止められると、問題ではないか。
- 委員 図表・資料によっては、カラー印刷の方が分かりやすい。
- 委員 ちなみに何部印刷するのか。
- 事務局 100部以上印刷する場合がある。
- 会長 答申案の項目を削除するか、文案を推敲する。
- 会長 4頁(iii)の記載部分で、EBPMの文言を入れてもいいのか。
- 委員 削除した方がいいかもしれない。
- 会長 5頁の記載内容の市民意見の簡略化について、残した方がいいのか。
- 委員 この部分は、残していただきたい。
- 会長 6頁(5)の担当課に対するフィードバックについても、内容を担当課だけではなく関係部署にも情報共有してもらいたい。模範案件について庁内共有して欲しい。担当課からのフィードバックの内容を審議会に報告して欲しい。8頁(ウ)の記載で、内容の充実に取り組んで欲しい。その他の市民参加も充実して欲しいなどを記載した。皆さん、どうですか。
- とくに、7頁(iv)で担当課の反応の内容を審議会に返して欲しい、と思っているがどうか。

- 事務局 検討しますが、来年度は新メンバーとなる。文書等での報告となる。対面式の会議は時間的、事務的には可能であるが、予算的に難しい。
- 会長 答申案は、今月中に手直しをするので、気になった委員は事務局まで申出をしてください。
- 委員 パブコメの時期が年度終わりになるので、何とか前倒しできないのか。
- 委員 複数回のパブコメ実施は難しいが、その他の方法での市民参加を試みてはどうか。
- 会長 他市の例を挙げれば、政策立案のプロセス設計図ができればなおよい。複数の市民参加を組み合わせるなど工夫して欲しい。来年度の課題とする。
- 会長 私と大村委員、事務局と協議し答申案を作成修正し、委員の皆さんに確認をしてもらおう。
- 事務局 答申書の提出は、12月26日（月）午前10時から30分程度行う。是非ともご参加ください。
- 会長 それでは本日の議事は終了する。